

# 令和元年度弥彦村立小・中学校 第2回 学校運営協議会

## 議事録

1 開催日時 令和元年10月8日(火) 18:30～20:00 教育委員会2階会議室

2 出席者 宇田隆行委員 藤澤真璽委員 小柳信義委員 本間美幸委員  
武石由紀委員 渡邊 晃委員 石川拓哉委員 半間義之委員  
渡邊夕香委員 渡邊真樹委員 石黒和仁校長 河井昌之校長 (12名)  
オブザーバー 林順一教育長 小川泰文教頭(小学校) 佐藤壮教頭(中学校)  
新潟日報社から取材の要請があり、許可した。

### 3 報告・協議

#### (1) 前期の取組状況と今後の取組

最初に石黒校長、河井校長から報告があった

<意見の概要>

○早寝・早起き・朝ごはんの取組がとてもよい。

○昨年まで「眠育」という取組もしていたが今年度の取組状況はどうか。

【回答】

(小学校長)

・元気アップ週間などで取り組んではいるが、「眠育」という形ではしていない

(中学校長)

・小学校と同様である。睡眠についての情報提供などたよりなどでは伝えている。

○学力の状況報告がよかった。学校だよりも数値を出していたがよいと思う。そのうえで学力をさらに伸ばすにはどうしたらよいかを家庭・地域も考えていく必要がある。

○子ども同士の挨拶がうまくいくように、大人も取り組んでいく必要がある。

○学力と読書の関係があるとのことだが、各校の取組状況はどうか。

【回答】

(小学校)

・「えほんの会」からの読み聞かせを実施している

・朝読書など時間を決めて取り組んではいない。今後検討したい。

(中学校)

・朝読書に取り組んでいる。

○各校で自己肯定感を高める取組を重視しているのがよく分かった。

○子どもが早く6年生になりたいということを話していた。上級生が下級生に教えるなど、子ども同士で教え合うという取組がとてもよい。魅力ある学校づくりが進められていることに感謝している。

#### (2) メディアコントロールについての情報交換

○小・中学校の児童生徒でとりわけ課題となっているメディアコントロールについて情報交換を行った。

<意見の概要>

○学校の元気アップ週間の取組は素晴らしい。しかし、どのような活動をしているのか保護者として十分に把握していなかった。家庭との連携の在り方を考えていかなければならない。

○親の言うことを聞かなくなっている。テレビなどが不調になって見られなくなった際に、子供は学校のことをよく話してくれた。メディアがないことでのよさを伝えていくことも重要だと思う。

○結局は子どもの問題というよりも大人の問題も大きいだろう。子供に直せといっても、大人がメディアコントロールできていない状況では説得力はない。大人の意識を変えていくことも大切なことだと思う。

○親が理解して実践することが大切。「ルールを作って守らせるか」「環境を整えて仕向けるか」だと思うが、いずれにせよ親の意識が重要。

○ゲームをしなくても集える場が必要。テレビゲーム以外のゲーム、例えば将棋など教えてもらえる人がいたら一緒にやるとかできないか。

#### 4 協議資料

- ・前期学校評価報告書（小学校 中学校）
- ・学校支援ボランティア実施要領（事務局提案）

#### 5 その他

- ・11月30日（土）第3回教育フォーラムを「メディアコントロール」をテーマに開催することを提案し、了承を得た。
- ・次回、第3回学校運営協議会を令和2年2月13日（木）16：30～18：00に同会場で実施することを確認した。